調査要領

1 調査対象施設

別添に掲げる施設のうち、2階建て以上又は延べ床面積200㎡を超える施設(棟)を対象とする。

※ 建物一部 (1階部分で100㎡ほど)使用している場合でも、当該建物全体として 2階建て以上又は延べ床面積200㎡以上であれば、今回の調査対象となる。

また、複数の施設種別が合築されている場合でも同様に考え、それぞれの施設種別ごとに計上する。

2 調査基準日

2019年3月31日(日)

3 提出期限

2019年11月28日(木)

- 4 記入要領
 - (1)「施設名(A)」欄 施設の名称を記入すること。
 - (2)「棟の名称(B)」欄、「建築年度」欄 <u>棟ごと</u>の名称及び建築年度を記入すること。 名称が無い場合も「A棟」、「B棟」などと記入し、明確に分けること。
 - ※ 「棟の名称」の記入が無いと、棟数が正確に表示されません。
 - (3)「昭和57年以降に建築された棟数 (C)」欄 昭和57年以降である建物の場合は「○」を記入すること。
 - (4)「昭和56年以前に建築された棟数(D)」欄 昭和56年以前の建物である場合は「○」を記入すること。
 - ※ 自動入力セル ((E) か (L) に「○」が入れば (D) 欄に自動的に「○」が入ります。)
 - (5)「耐震診断実施済(E)|欄

<u>上記「(4)」のうち</u>、耐震診断を行った建物である場合は「○」を記入すること。 ※ 自動入力セル (F) か (G) に「○」が入れば (E) 欄に自動的に「○」が入り ます。

(6)「Is 値」欄、「Iw 値」欄

上記「(5)」に「○」を記入した場合にあっては、その建物の「Is 値」 若しくは「Iw

値」を記入すること。耐震診断を実施したが「Is 値」棟が算出されていない場合は、「-」を記入すること。

(7)「改修不要(F)」欄

<u>上記「(5)」</u>のうち、耐震改修が不要と判断された建物である場合は「 \bigcirc 」を記入すること。

(8)「要改修(G)|欄

<u>上記「(5)」</u>のうち、耐震改修が必要と診断された建物である場合は次により $H \sim K$ 欄を記入すること。

※自動入力セル((H) ~ (K) に「 \bigcirc 」が入れば((G) 欄に自動的に「 \bigcirc 」が入ります。

- ① 「改修済み(H)」欄 耐震改修が終了している場合は「○|を記入すること。
- ② 「改修中(I)」欄 現在耐震改修中である場合は「○」を記入すること。
- ③ 「2019.4~2020.3改修予定(J)」欄2019年4月から2020年3月までの間に耐震改修を終了(実施)する予定である場合は「○」を記入すること。
- ④ 「時期未定(K)」欄
 2020年3月までに耐震改修を終了(実施)する予定のない場合は「○」を記入すること。④に「○」を記入した場合、以下(11)を参照し該当する理由を一つ選び「ア〜キ」のいずれかを(T)欄に記入すること。
- (9)「耐震診断未実施(L)|欄

上記「(4)」のち、耐震診断を実施していない建物である場合は次により $M \sim R$ 欄を記入すること。

- ※ 自動入力セル((M) \sim (R) に「 \bigcirc 」が入れば(L) 欄に自動的に「 \bigcirc 」が入ります。)
- ① 「改修済み (M)」欄 耐震改修が終了している場合は「○」を記入すること。
- ② 「改修中(N)」欄 現在耐震改修中である場合は「○」を記入すること。
- ③ 「2019.4~2020.3改修予定(O)」欄 2019年4月から2020年3月までの間に耐震改修を終了(実施)する予 定である場合は「○」を記入すること。
- ④ 「2019.4以降診断予定(P)」欄 今後、耐震診断を予定している場合は「○」を記入すること。
- ⑤ 「2019. 4以降廃止予定(Q)」欄

今後、廃止を予定の場合(場所を移転する場合も含む。)は「○」を記入する こと。

- ⑥ 「左記以外(R)」欄
 上記、「①」~「⑤」に該当しない場合は「○」を記入すること。
 ⑥に「○」を記入した場合、以下(11)を参照し該当する理由を1つ選び「ア ~キ」のいずれかを(T)欄に記入すること。
- (10) 「2017年4月以降に事業を開始した施設の棟数(S)」欄 前回調査基準日以降に事業を開始した施設の建物である場合は、建物の建築年度 や耐震診断の実施の有無に関わらず「○」を記入すること。
- (11)「S 5 6 以前の建物で耐震診断、耐震工事の予定がない場合の理由 (T)」欄上記「(8) ④」欄若しくは「(9) ⑥」欄に「○」を記入した場合、次の中から該当する理由を 1 つ選び「ア~キ」のいずれかを記入すること。
 - ア 地方自治体において、耐震工事の経費の確保が困難
 - イ 法人において、耐震工事の経費の確保が困難
 - ウ 改築のための土地の確保が困難 (仮設施設を建てる場所又は移転先がない)
 - エ 関係者間の調整が困難 (マンションの1階部分である、他の事業者の運営する施設と合築であるなど)
 - オ 2020年度以降改修予定
 - カ 施設が休止中若しくは現在、使用されていない
 - キ その他(自由に記載)